

1

おりひめバス運行スタート！

～市民の移動手段は市が守る～

交野市のコミュニティバス「おりひめバス」の運行がスタート（市内7ルート）。運賃は大人200円、誰でも乗れます。ICカードは6月以降から使える予定です。
日本共産党は、山本市長となってからも11回連続の一般質問で公共交通について取り上げ、充実を求めてきました。（詳しくは、市HPや全戸配布されている冊子をご覧ください。）



日本共産党議員団がこれまでみなさんの声を議会で届け、実現に動かしてきた事業も多く実施されます。一部を紹介します。

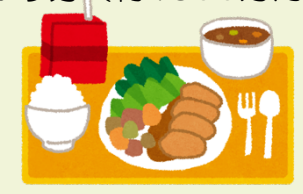
2025年度予算賛成多数で可決
市民の願い届け、一歩一歩政策前進へ！

2

学校給食費無償化 5年生まで拡大へ

～家計負担の軽減と、質の高い給食の両立に努力～

学校給食費の無償化が、これまでの6年生と中学1～3年生に加え、今年から5年生にも拡大されました。また、1年生から4年生も含めて、物価の高騰による食材費の値上がり分（約4600万円）は、保護者負担を増やさずに市が負担します。



3

30人以下学級を小学2年生へ拡大

～一人ひとりに寄り添える教育環境のために～

先生が、より一人ひとりに寄り添って子ども達の学びを支えると同時に、先生の負担軽減にもつながる取り組みとして、交野市は昨年に小学1年生からスタートさせ、今年度は2年生へ拡大します。

4

物価高対策 下水道基本料金4ヶ月分免除

～止まらない物価高騰から市民生活を支えるために～

ありとあらゆる物が値上がりする中、給与も年金も上がらない……。多くの市民生活が苦しくなっています。交野市は、国の物価高騰対策のための臨時交付金を活用し、そうした市民と市内事業者を支えるため、4月～7月または5月～8月 2回分の下水道基本料金を免除します。

5

見守りおむつ定期便事業がスタートします！

～家計負担軽減と、孤立しやすい乳児期の子育てを支えます～

25年4月2日以降に生まれた赤ちゃんを育てる家庭に、生後3ヶ月から1歳になるまで、月1回・1500円相当のおむつ等の子育て用品を自宅に届けます。
その際、養育状況の確認や不安、心配事の相談に応じ、必要な場合は地域の子育て支援や行政につなげます。（申請必要）



その他

●加齢性難聴者の補聴器等購入補助制度の上限額が
2万5千円から3万円へ拡充！（住民税非課税世帯が対象）

2年前に始まったこの制度は、年間30件の利用があり喜ばれています。高齢者への聞こえの支援は、認知症予防にもつながることから、繰り返し拡充を求めてきました。更なる対象拡大へ引き続き要望していきます。

●学校体育館のエアコン設置・トイレの大規模改修がさらに進みます。
（今年度エアコン設置校：旭小・妙見坂小・藤が尾小・倉治小）
（大規模トイレ改修校：二中・三中・四中の2系統目）

案件名	賛否の状況（○賛成 ×反対）														
	共産		にじいろ 対話		維新			みんなの 交野		未来			公明		
	皿 海	藤 田	松 村	安 部	（伴 岡田	堀	（智 岡田	坂 本	松 永	松 本	黒 田	野 口	山 下	中 谷	三 浦
2025 年度交野市一般 会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	×	×	○	○	/

※1 松本議員は採決時に退場していたため、当該議案の採決には参加していません。
※2 三浦議員は議長として立場上、採決には参加していません。

★topics★

ゆうゆうセンターの女性用トイレ
生理用品の設置が実現へ！

「金銭的な理由で生理用品を買うのに苦労したことがある」と、若者の5人に1人が答えています。
日本共産党は、学校や公共施設の女性用トイレに、生理用品をトイレットペーパーと同じように置いてほしいと要望してきました。市は当初、「学校の保健室で必要な子には渡す」との対応でしたが、ナプキンをトイレに置く学校が少しずつ広がり、今年度「ゆうゆうセンター1階トイレ」に設置することになりました。